

藤沢市教育委員会定例会（9月）会議録

日 時 2007年9月7日（金）午前10時

場 所 東館2階教育委員会会議室

1 開 会

2 会議録署名委員の決定

3 前回会議録の確認

4 議 事

- (1) 議案第17号 藤沢市青少年相談センター運営協議会委員の委嘱及び任命について

5 その他

- (1) 平成19年度「藤沢市青少年育成の基本方針」事業実施計画について

- (2) 第1回神奈川県中学生ビーチバレー大会の結果について

- (3) 第21回ビーチバレージャパン&マスターカードマーメイドカップの結果について

- (4) オープンウォータースイミング2007の結果について

- (5) 地区レクリエーション大会の実施について

- (6) 総合市民図書館の月曜日開館について

6 閉 会

出席委員

1 番 小 野 晴 弘
2 番 鈴 木 紳一郎
3 番 開 沼 佳 子
4 番 平 岡 法 子
5 番 川 島 一 明

出席事務局職員

| | | | |
|---------|---------|-----------|---------|
| 教育総務部長 | 落 合 英 雄 | 生涯学習部長 | 高 木 三 広 |
| 教育総務部参事 | 茂 木 利 夫 | 生涯学習部担当部長 | 浅 木 良 一 |
| 教育総務部参事 | 城 田 修 治 | 生涯学習部参事 | 渡 邊 忠 雄 |
| 教育総務部参事 | 桑 山 光 生 | 教育総務部参事 | 田 中 一 次 |
| 生涯学習部参事 | 関 水 秀 樹 | 生涯学習部参事 | 熊 谷 正 明 |
| 教育総務課主幹 | 上 野 進 | 青少年課主幹 | 吉 田 厚 治 |
| 書 記 | 秋 山 曜 | | |

午前 10 時 00 分 開会

平岡委員長

ただいまから、藤沢市教育委員会 9 月定例会を開会いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岡委員長

日程に入ります。

本日の会議録に署名する委員は、1 番・小野委員、5 番・川島委員に
お願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

平岡委員長

それでは、本日の会議録に署名する委員は、1 番・小野委員、5 番・川島
委員をお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岡委員長

次に、前回会議録の確認をお願いいたします。何かありますか。

特にありませんので、このとおりの承することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

平岡委員長

それでは、このとおりの承することに決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岡委員長

これより議事に入ります。

議案第 17 号藤沢市青少年相談センター運営協議会委員の委嘱及び任命
について、を上程いたします。事務局の説明を求めます。

吉田青少年課主幹

議案第 17 号藤沢市青少年相談センター運営協議会委員の委嘱及び任命
について、ご説明いたします。今回の委嘱及び任命につきましては、委員の
任期が 2007 年 9 月 30 日に任期満了となることに伴い、藤沢市青少年相談
センター運営規則に基づき 2007 年 10 月 1 日から 2 年間、委員の委嘱及び
任命を行うものです。委員総数は 17 人で、再任、新任の割合につきましては、
新任が 2 人、再任が 15 人です。また、男女の比率につきましては、
男性が 13 人、女性が 4 人でありまして、女性の登用比率は 24%です。以上
で説明を終わります。

平岡委員長

事務局の説明が終わりました。議案第 17 号につきまして、ご意見・ご質
問がありましたらお願いいたします。

川島委員

2 人の地域推薦者についてお聞かせください。

吉田青少年課主幹

2 人の市民委員については公募を原則としており、平成 17 年 10 月から
委嘱され、活躍していただいております。広報で市民委員の公募をいたしま
したが応募がありませんでしたので、「審議会等の市民委員の公募に関する
基準」にのっとり、応募者数が募集人員に満たない場合は、再募集又は地域
推薦により選考ができるということから、再募集は避けて地域推薦という
形を取らせていただきました。具体的には、各市民センターに公募者を投げ
かけ、この 2 名の方が推薦により委員とされたという経過であります。

川島委員 藤沢市保護司会、藤沢市社会福祉協議会、藤沢防犯協議会、藤沢北防犯協議会のメンバー数をお知らせいただきたい。

吉田青少年課主幹 申しわけありません。それぞれの組織の構成人数は把握しておりません。

川島委員 わかりましたら、教えていただきたいと思います。

平岡委員長 後ほどお調べいただいて、お示し願います。

ほかにありますか。

ないようですので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

平岡委員長 それでは、議案第17号藤沢市青少年相談センター運営協議会委員の委嘱及び任命については、原案のとおり決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岡委員長 その他に入ります。

(1) 平成19年度「藤沢市青少年育成の基本方針」事業実施計画について、事務局の説明を求めます。

吉田青少年課主幹 平成19年度「藤沢市青少年育成の基本方針」事業実施計画について、ご説明いたします。2007年2月に「参加と共生」を行政の基本的な考え方とする、藤沢市青少年育成の基本方針を策定いたしました。この基本方針の推進を図るため、市の内部組織であります藤沢市青少年対策本部で実施計画を策定するとともに、進捗状況等を把握し、青少年問題協議会等及び市の関連各課等に報告するとされております。そこで、この8月に青少年対策本部にて策定されました、「藤沢市青少年育成の基本方針事業実施計画」の策定に当たっての基本的な考え方、並びに内容についてご説明いたします。

実施計画の策定における基本的な考え方といたしましては、今後事業の進行管理をしていく関係上、事業ごとの青少年育成の基本方針の7つの目標は、(2) 目標及び推進項目別事業数の目標1の「青少年の自立と社会参加への支援」以下7つの目標があります。それぞれの目標のうち、どの推進項目に当てはまる事業であるかを取りまとめていくかが、この事業実施計画を策定するのに最善だと考え、そこから青少年を対象とした事業については、市役所内のさまざまな課をはじめとして、公民館等で実施しております。それらの事業をすべて抜き出すというような形で、青少年の育成の基本方針の7つの目標のうち、その抜き出したものがどの推進項目に当てはまっていくのか、どのような事業であるかを各課等から報告いただき、取りまとめをいたしました。その結果、集計データの全体事業数は262となりました。また、1つの事業でも複数の目標、推進項目に当てはまるものも数多くあり、再掲を含めると336の事業数となりました。特に、再掲についての取り扱いでは、1つの事業で3つから4つの推進項目に該当するものもございまして、

推進事業を少しでも減らすという意味合いで、最も適当であると思われる推進項目に掲載をいたしました。しかし、やむを得ないケースにつきましては、再掲として複数の目標を推進項目の中に事業掲載いたしております。

それでは、19年度の新規事業を中心として、その中でも青少年課の事業計画の主なものをご説明いたします。目標2「コミュニティ意識の形成と青少年の活動支援」の推進項目(4)「地域における青少年の活動場所の充実」の2(仮称)辻堂方面青少年会館設置事業は、青少年、特に中学生、高校生の居場所づくりの支援として、辻堂方面に新たな青少年会館の建設の検討を始めるもので、建設の検討内容につきましては、市の総合計画にも載せてございますが、今年度につきましては、建設場所、施設内容等を検討してまいりたいと考えております。

3「放課後子ども教室推進事業」は放課後の児童の居場所として、小学校の余裕教室、体育館等を利用して、自主的に遊びや勉強を行える居場所を設けるもので、地域の方々の協力や学校の協力を得ることで、19年度につきましては10月を開始目標にして、小糸小学校で試行することで現在準備を進めているところです。

4「富士見台小学校児童館設置事業」は、富士見台小学校区に市内6番目の児童館を建設するための用地取得を中心に、検討していくものです。

11「青少年のためのフリースペース開放」は、昨年度、青少年協会で藤沢青少年会館の4階に夏休み、冬休みの期間中だけでしたが、青少年の居場所づくりとして自由に利用できる部屋を試験的に開放いたしました。その結果、ご利用いただいている方々から、通念的に開放してほしいという要望が多く寄せられたことから、19年度から通年でオープンスペースとして開放するようにいたしました。

以上が、青少年課の19年度の新規事業として、今年度の事業計画を説明させていただきました。なお、この事業実施課におきましては、毎年度終了後、各事業の実績評価をしていただく予定になっており、この中には実績評価ということで、進行管理をさせていただく予定を組んでおります。以上で説明を終わります。

平岡委員長

事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対しましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

鈴木委員

事業実施計画を見て、予算がゼロでもさまざまなことができていて、非常に良いことだと思いました。それから、公民館レベルでいろいろな事業が計画されるときに、簡単に実施できるシステムになっているのでしょうか。つまり、急に12月から何か事業を実施しようといったときに、スムーズにいくのかどうか、その辺りをお伺いします。

吉田青少年課主幹 基本的には、年間の事業計画を公民館運営審議会の中で、どのようなところを重点的に行うかとか、いろいろ事業企画を出し合う中で決めていき、それを行っていくわけですが、中には住民からの要望、サークルから勉強がしたいというようなことが出たときには、各公民館で決めていく形があるかと思います。基本的には、公民館運営審議会で図っていくという形を取っているのが現状です。

鈴木委員 急に起こってくる問題に対して、スムーズに対応できるよう支援していただきたいと思います。

渡邊生涯学習部参事 公民館については、年間計画のもとに実施しているのが実態ですが、事業を開催するに当たっては、公民館運営審議会あるいは青少年育成協力会、青少年問題協議会、子ども会といった方から情報を得ながら、時々的情勢に合った事業を実施しておりますので、計画を立てる前に、そういった方々の意見を聞く場を設定している館もございます。さまざまな取り組みをしておりますが、今後につきましても、そういった観点で取り組んでまいりたいと思います。

開沼委員 (仮称) 辻堂方面青少年会館設置事業についてですが、従来から会館の必要性や建替えの声が出ております。中学生、高校生を対象としている施設ですが、本当に対象者と施設の必要性がうまくかみ合うのか、十分に調査検討をしていただいて、より良いものをつくっていただけたらと思っております。現在、青少年や婦人、子どもとそれぞれの世代の枠組みではなく、世代を越えてさまざまな人たちといい関係を保つことが大切になっていきます。公民館の受け入れの幅も広がってきていますので、社会教育施設を横断的に広くとらえていただいて、今後、青少年会館等いろいろな施設の充実に取り組んでいただきたいと思います。

吉田青少年課主幹 青少年会館は思春期の中学生、高校生を対象に開設していきたいと考えておまして、そのためにはいろいろと若い人たちの意見を聞き、それを反映するような形で、また、ほかにもこういった施設が県内にも都内にもございますので、その辺のところを参考にし、市内で行っております公民館をはじめとする既存の若者たちの動向等を配慮する中で、検討してまいりたいと思います。

川島委員 青少年教育に関しては、基本方針の目標1から7までに網羅されていると思いますし、全国の市町村でも使える素晴らしいマニュアルではないかと思っております。そこで、ふじさわ総合計画2020でいう「藤沢らしさ」は、藤沢の青少年の育成ではどの辺にうたわれているのか。もう一点は、青少年問題協議会に報告し、広報等で公開するとあるけれども、いつごろに報告書が出るのか、教えていただきたいと思っております。

吉田青少年課主幹 この事業実施計画の中での「藤沢らしさ」ですが、今までの基本方針については「自立と連帯」という考え方でしたけれども、19年度からの青少年育成の基本方針におきましては、「参加と共生」という新しい考え方にのっとっております。参加と共生という目標に沿ったもの、例えば多様な人との交流と多種多様な体験機会の充実という目標1、推進項目2で参加というものが推進項目で事業展開しているところが藤沢らしさという考え方が伺えるところではないかと思っております。

今後の実施報告を市民にも公開するという点については、ホームページ、広報等を中心に、この冊子すべてということにはいきませんが、ダイジェスト版や、ホームページについてはそのまま載せる形で公表してまいりたいと思っております。

川島委員 時期はいつごろになりますか。

吉田青少年課主幹 今のところ、10月を予定しております。

平岡委員長 ほかにありませんか。

特にないようですので、了承することといたします。

×××

平岡委員長 次に(2)第1回神奈川県中学生ビーチバレー大会の結果について、事務局の説明を求めます。

熊谷生涯学習部参事 第1回神奈川県中学生ビーチバレー大会は、2007年8月18日(土)から19日(日)の2日間にわたって開催いたしました。結果については、男子の部を18日に行い、参加数は34チーム、市外チームは16チームで、優勝は羽鳥中学校A、準優勝が藤沢クラブ、3位が大和中学B、藤嶺藤沢Cでした。19日(日)には女子の部を行いまして、39チーム、市外からは19チームで、優勝は座間東中学、準優勝は明治中学A、3位に県西排球部とナイスBodyな美女軍団でした。

この大会は、第1回大会ですが、昨年20周年を記念いたしまして小・中・高の大会を実施いたしました。その中で、中学生については県の大会でも十分対応できるのではないかとということで、今回、県のバレーボール協会と協議をしながら、第1回を開催したわけです。砂の上での思いもよらないプレー、珍プレーも出てまいりましたが、参加した子どもたちは大変感動しておりました。また県協会、日本協会の関係者もビーチバレージャパンを控えた中で大勢の方が現場を見ておりまして、これは普及の面からも良い大会なので、ぜひ継続を、というような声をいただいております。教育委員会といたしましては、来年は関東、その次は全国というような形で、ぜひ全国大会につなげていけるような大会に育てていきたいという考えで、この事業については取り組んでまいりたいと考えているところです。以上です。

平岡委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対しましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

川島委員 この大会は成功裡に終わったようではございますけれども、時期的に一番暑い時期で、暑いときに激しい運動をすると大変な方向に行ってしまう可能性がなきにしもあらずだが、その辺いかがだったでしょうか。

熊谷生涯学習部参事 この時期は、体温の調節機能に伴う熱中症あるいは熱痙攣等が一番心配されるわけですが、十分な水分の補給、休養、連続しての試合を避ける、あるいはテント、パラソルを使った日陰を設けるといった主催者側の配慮と引率の先生方、保護者のご協力、子どもたちの体調の維持管理については、万全を期していただく形で実施をいたしました。また、開会式の折にも競技上の注意事項の中で、教育長あるいは生涯学習部長等のあいさつの中でも「暑いので、熱中症に十分気をつけて大会に臨んでいただきたい」ということの周知を徹底いたしまして、無事故で終わることができたという状況でございます。

川島委員 女子の部3位の「ナイス B o d y な美女軍団」という名前は、中学生の団体としてはいかがなものか、という感じがしなくもないけれども、それはチーム名で認可されたのでしょうか。ほかのチームは堅いチーム名なのに、ここだけがというのはどうでしょうか。

熊谷生涯学習部参事 今回の大会は、学校対抗という形式はとらずに各市町のバレーボール協会をお願いをしてPRをし、また、行政単位で大会についての働きかけの中でチーム編成がされております。ビーチバレーのチームは4人編成としておりまして、それぞれのネーミングについては、自由に自分たちのチームの名前をつけて楽しんでください、という趣旨もこの大会の中には入っております。そのような背景があったからと考えておりますが、ちなみに「講師と愉快的仲間たち」、あるいは「大和フェニックス」とか「ナイス B o d y な美女軍団」、「にっこりパラダイス」とか、そういう名前をつけているチームもあります。また男子の方でも「アズキクラブ」とか「下り坂イーグルス」とか「レッドウイングス」「チームピンク」とか、学校の名前をそのまま付けてくるチームもあれば、仲間同士、同じ学校のバレー部を幾つかに分けて、グループで名前をつけ合って出てくるというようなチームもございました。

川島委員 社会人と違って中学生ですから、名前をつけるときは、余り派手でないよう注意をお願いします。

小野委員 その名称をつけたチームは高浜中学校のチームでしたが、選手たちは張り切って、楽しみながら出ていたわけですが、会場にいた者としてはそんなに違和感はないと、なかなかいいチームだった印象を持っています。

鈴木委員 中学生の場合、一般の大会と比較して試合時間、ポイントは違うのですか。
熊谷生涯学習部参事 開催要項で 21 点のラリーポイント制を取っております。21 対 21 と同点になった場合はデュースになり、2 ポイント先取の 23 点で打ち切りとなりますので、23 点を先に取った方が勝ちとなります。ですから、最終的に 23 対 22 で、23 点を取った方が勝ちというルールを設定し、1 セットマッチで行っております。そして、1 回目で負けてすぐ帰るのも残念ですので、もう少しビーチバレーを楽しんでいただきたいということで、午前中の部にリーグ戦行い、上位 2 チームが午後の決勝トーナメントに進むというような形をとり、できるだけ多くビーチバレーを経験していただくというふうなことも含めまして、今回の大会を実施させていただきました。

鈴木委員 チーム編成をするときに、2 つの中学校からチームが編成するというのもよろしいのですか。

熊谷生涯学習部参事 同じ中学校のバレー部から複数のチームが出てくるのが基本ですけれども、中には、これは藤沢のチームですけれども、総合型地域スポーツクラブのバレークラブをつくっている団体がございます、ここの構成メンバーは藤沢と茅ヶ崎と鎌倉の子どもたちが入っております。ですから、違った中学校の子どもたちがチームを組んで出ているという状況もございます。

平岡委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、了承することといたします。

×××

平岡委員長 次に、(3) 第 21 回ビーチバレージャパン&マスターカードマーメイドカップの結果について、事務局の説明を求めます。

熊谷生涯学習部参事 今年、第 21 回を迎えましたビーチバレージャパン&マスターカードマーメイドカップの開催結果ですが、開催日は 8 月 23 日(木)から 26 日(日)まで。マーメイドカップは、世界大会の日程等がございまして、25 日(土)で終了しております。結果としては、ビーチバレージャパンは 52 チーム、推薦 8 チームと各県の代表 43 チーム。開催地神奈川県は、特別枠でもう 1 チームという形で、この推薦の中には高校男子の全日本の優勝チーム、それから大学の優勝チームの 2 つのチームを日本協会の推薦ということで、今回入れさせていただきました。優勝が朝日・白鳥組で連覇でございます。準優勝が西村・森川組、第 3 位が山本・渡辺組、高尾・仲矢組という結果でした。

マーメイドカップについては、出場している選手は昨年と同じような形ですが、ペアが若干違っている形になっております。優勝が楠原・佐伯組、準優勝が小泉・田中組、第 3 位が浅尾・西堀組、第 4 位が浦田・鈴木組になります。

観客数は、8月25日（土）に女子の決勝というか、一番良い試合が組まれるということで、有料席は1,000人、ほぼ満杯の状況でございました。4日間通しましては、合計1万2,000人という状況でございました。これに伴いまして、生涯学習部から応援に従事した職員は延べ12人でした。今回、直前の台風で大分砂を削られましたので、開催が危ぶまれたところもあるのですが、関係者のご協力によりまして、無事に、また盛大に開催することができました。

平岡委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

鈴木委員 先ほどの中学生の大会もそうですが、暑い中、これだけの人が集まるとAEDなどを常備するような体制はとられたのかどうか。

熊谷生涯学習部参事 この大会運営に当たっては、実行委員会が組織されておりまして、藤沢市も実行委員会に入っておりますが、会場管理あるいは総務という中で手配をされております。また、なぎさ事務所を使わせていただいているわけですが、そこにも救急救命部分がございます。またライフガードがすぐそばにおりますので、ライフガードの方にもそういうものは常備されておりまして、多角的な面で救急体制については対応がされていると理解しております。そういう中で、それぞれ選手は経験を大分積んでおりまして、中にはプロの選手もおります。それぞれにスポンサーがついたり、ドリンクもそれぞれが自由に飲めるように、ドリンクのスポンサーも入っていたりしておりまして、そういう大会の中で、特に熱中症等についての対策を取り立てて主催者側が心配するような状況ではない、十分な対応が取れていると解釈しております。

鈴木委員 AED（除細動器）は常備されているのでしょうか。

熊谷生涯学習部参事 教育委員会で、AEDを持っていくということはしておりません。主催者の事務局がすべて対応しております。日本協会、神奈川県協会、イベント会社が大会本部を設置しておりまして、そちらの方にそういう緊急機材については常備していることになっております。

鈴木委員 主催者ですので、どこに任せるにしてもそういうものがあるか、ないかを把握していないと、選手でなくても見にこられた観客の中にも何か起きたら、せっかく盛り上がってきたビーチバレーが、逆に盛り下がってしまうことにもなりかねませんので、把握していないといけないのではないのでしょうか。

熊谷生涯学習部参事 教育委員会が直接的にそういうものを配備しているわけではないけれども、当然、救護所等が設置されておりますので、そういった中で今後確認を取っていきたいと思います。

鈴木委員 会場は鵠沼海岸常設ビーチバレーコートですが、愛称のような何か違う

名前がついていますか。

熊谷生涯学習部参事 エリア的には常設コートという形で 12 面ぐらい取れるような広場があり、その部分はそのまま使います。ただ、スタンドを設けるメインコートは特別に川沿いの近くまで引っ張ってきまして、そちらの方にメインコートを設け、海に向かって左手に通常の競技用のコートをつくっていきます。そのようなレイアウトで、名称は鵜沼のビーチバレー常設コートということしか言っておりませんので、特にございませぬ。

小野委員 常設コートの上にサーフビレッジという県の施設があつて、ここには軽食堂やトイレもあり、休憩室もあるということで観客も自由に入れます。具合が悪くなつた場合は、その休憩室へ行くという形で一体となり、施設的にはすべてサーフビレッジで賄う形をとっています。ビーチバレージャパンも 21 回となりましたので、体制はかなり充実していると思います。

川島委員 中学生も社会人も夏季のスポーツについて、以前はこんなに高温で夏を迎えることはなかつたのに、環境の変化というか大変な状況が起きるようになっていふ。あらゆる教育機関のスポーツ合宿に関しても、今までは熱中症対策をそんなに気にしないで、ほどほどに救急施設等を置いておけばいいのではないかと、水を飲用すればいいのではないかと、ということだったので、それ以上に今の若い人たちの内臓疾患、心疾患は大変な状況のようです。ご承知のように、メタボリックというのが子どもたちにどんどん増えているし、スポーツをやつていてもそういう人たちが栄養過多によって増えているように拝察いたします。こういう試合には、相当ベテランのドクターをお呼びしていると思いますけれども、より一層忘れぬようにしていただきたい。3分、5分といった短い時間でも、この間に助かるか、命を落としてしまうか、というのがあると思いますので、是非、運動会等の学校行事もそうですけれども、その辺を掌握してやつていただきたいと思ふ。この大会にドクターはおいでになつていふのでしょうか。

熊谷生涯学習部参事 本大会に常駐しているドクターはおりませぬ。基本的には緊急時対応マニュアルができておりまして、その中では県の医務室での対応ですが、医務室にドクターが常駐していることはなく、看護師さんによる応急的な手当てが主体です。それ以外は、すべて消防本部が詰めていふので、消防本部から医療機関に搬送するということになります。ご指摘いただきました内容については、次年度の開催に向けて対応してまいりたいと思ふ。

川島委員 必須条件としてよろしくお願ひします。

平岡委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、了承することといたします。

×××

平岡委員長 次に、(4) オープンウォータースイミング2007の結果について、事務局の説明を求めます。

熊谷生涯学習部参事 湘南オープンウォータースイミングは、8月11日(土)から12日(日)の2日間にかけて行われました。主催は湘南オープンウォータースイミング実行委員会でございますが、笹川スポーツ財団に藤沢市、鎌倉市、逗子市他が参画して実行委員会を組織して実施をしたという状況でございます。競技種目は、フィンスイミング2.5キロ、江の島スイムツアー0.8キロ、オープンウォータースイミング2.5キロと10キロに分かれております。参加者は、フィンスイミング2.5キロ110名、江の島スイムツアー502名、オープンウォータースイミングは2.5キロが1,004名、10キロが335名という内訳です。結果につきましては、記載のとおり男子、女子の優勝者となっております。スタッフ・ボランティアにつきましては、大会期間中のスタッフは延べ563人、ボランティアは延べ670人、合計1,233名のスタッフ構成でこの事業が運営されました。これも暑い中でございましたけれども、大きな事故はなく無事に終了いたしました。以上です。

平岡委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

川島委員 優勝者は名前だけで、所属団体などはどうなのか。

熊谷生涯学習部参事 報告書には名前のみとなっております。ビーチバレージャパンにはプログラムもありますが、やはり報告書には名前のみです。所属としては、都道府県しかありません。企業等の所属までは把握できておりません。

川島委員 所属とか出身地名があれば、どういう方が参加するということがより一層わかって発展すると思うので、検討していただきたい。

熊谷生涯学習部参事 湘南オープンウォータースイミングは、どこの都道府県から参加しているかという数字はいただいております。ただ、入賞者がどこの出身で、どこにお勤めという細かい部分については、いただいている報告書にはございませんので、次回以降、報告をいただく際には所属まで入れていただくことをお願いしていききたいと思います。

小野委員 どこかの代表で出てくるということではなく、個人参加が基本です。かなり高齢の方等、いろいろな方が参加しているので、スタッフ・ボランティアが両側に伴走して、一人ひとりに目を配りながら事故がないよう万全の体制での大会です。最近、遠泳は行いにくい状況になってはいますが、全国的にもこのような大会はそうはないので、全国からそれぞれ参加している状況だと思っています。

開沼委員 ビーチバレーやウォータースイミングにかかわらず、ジョギングやマラソンなど競技指向にとどまらない、誰もが楽しめるようなスポーツ愛好者を

育てていって、湘南カラーとしていただきたいと思います。

平岡委員長

8月11日から26日までという猛暑の中での大会だったようですが、事故などもなく盛大に開催できたことは本当に良かったと思います。ご苦勞さまでした。

ほかにないようですので、了承することといたします。

×××

平岡委員長

次に、(5) 地区レクリエーション大会の実施について、事務局の説明を求めます。

熊谷生涯学習部参事

地区レクリエーションについては、例年、教育委員の皆様方にもご出席、ご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。本年度も、35地区ですが、合同で開催する地区もありますので、33会場で実施の予定がまとまりました。この中で、10月7日(日)は11会場、10月14日(日)は19会場で予定しております。できましたら各地域を巡回していただいて、地域の皆さんが頑張っている様子をご視察いただけるとありがたいと思います。この件については、後日、教育総務課と日程等調整をさせていただきたいと思います。以上です。

平岡委員長

事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対しましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、了承することといたします。

×××

平岡委員長

次に(6) 総合市民図書館の月曜日開館について、事務局の説明を求めます。

関水総合市民図書館館長

総合市民図書館の月曜日開館につきましては、この6月から市内の図書館が必ず開いていることを目指して、開館日を変更させていただきました。併せてサービス拡大の一環として、資料の貸出点数も変更をさせていただきました。具体的には、図書・雑誌については6冊から10冊に、CD・カセットのAV資料については3点から5点に、DVDビデオについては1点から2点に変更し、実施しております。本日の資料は、主に月曜日開館の利用人数とそれぞれの資料の貸し出し数を表にまとめたものです。合計欄は月ごとの合計、カッコ内には平均を記載しております。それから、月曜日以外の火曜日と金曜日は、開館時間を午後7時までとしておりますので、水曜日と木曜日の平均もあわせて記載しております。6月4日のスタートですが、6月は平均600人がご利用いただいたということになっております。7月については、一定の周知期間もあっておおむね700人程度です。7月16日1,491人は、祝日(海の日)だったので、大きな数字となりました。8月は約800人を超えておりますが、夏休みということもあって、利用者が増えるのと、月曜日開館が一定程度周知されてきたという思いがあります。

他のウィークデーに比べ数字的には下回っておりますので、今後も月曜日開館とあわせて貸出点数が増えたことについても引き続き周知をしていきたいと思っております。

もう一点は、月曜日開館に関して第2、第4の水曜日を休館日としておりますが、水曜日に来館する方がまだ若干ありますので、今後も引き続き周知を図っていききたいと思っております。全体として月曜日開館については、順調に推移していることをご報告させていただきます。

平岡委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対しましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

鈴木委員 大分周知されてきているようですが、他の図書館へも月曜日開館の希望は出ているのでしょうか。

関水総合市民図書館長 3ヵ月を経過して、他の3図書館の月曜日開館の要望については、直接的にはありません。今後、総合市民図書館の月曜日開館の状況を検証する中で3館への月曜日開館を検討していくことになると思います。

平岡委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、了承することといたします。

以上で、本日予定いたしました審議する案件はすべて終了いたしました。
÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岡委員長 次回定例会の期日を決めたいと思います。10月5日（金）午後2時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

平岡委員長 それでは、次回の定例会は10月5日（金）午後2時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催いたします。

以上で、本日の公開による審議の日程はすべて終了いたしました。

午前11時10分 閉会

この会議の経過を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員